

GISA NEWS LETTER

地理情報システム学会ニューズレター 第105号

発行日 ● 2017年3月23日
発行 ● 一般社団法人 地理情報システム学会

目次

2018年度 GISA学会賞募集	1p
学会からのお知らせ	1p
支部報告	2p
委員会報告	2p

第26回研究発表大会セッション報告(追加)	2p
分科会報告	2p
学会後援行事等のお知らせ	3p
事務局からのお知らせ	3p

【2018 年度 GISA 学会賞募集】

〔学会賞委員会委員長 河端 瑞貴〕

2018 年度地理情報システム学会賞の募集を行います。応募資格者および提出物の内容、受賞者選考・決定方法は、以下のホームページでご確認ください。

<http://www.gisa-japan.org/awards/index.html>

自薦、他薦を問わず、たくさんのご応募をお待ちしております。選考結果は、9 月末日までに応募者各位にご連絡いたします。また、受賞者は、本年 10 月 20 日(土)～21 日(日)に首都大学東京にて開催される第 27 回研究発表大会で表彰されます。

募集部門：

「研究奨励部門」(本年 3 月末日の時点で 35 歳以下の者)
「学術論文部門」(提出論文の抜き刷りは、全論文から主要な論文 5 件に変更になりました)

「ソフトウェア・データ部門」

「教育部門」

「著作部門」

応募期限：2018 年 7 月 15 日(日)

提出先： 地理情報システム学会事務局

【学会からのお知らせ】

■ 2018 年度一般社団法人地理情報システム学会定時社員総会のご案内

社員総会で議決権を有するのは代議員の方のみですが、他の正会員の方も出席し意見を述べていただくことができます。

日時：2018 年 5 月 27 日(日) 15:30～16:30(予定)

場所：東京大学工学部 14 号館(予定)

※ 詳細は学会ホームページに掲載します。

■ 2018 年度学術研究発表大会のご案内 《予定》

2018 年度地理情報システム学会研究発表大会は、10 月 20 日(土)、21 日(日)の両日、首都大学東京南大沢キャンパス

にて開催されます。(前日にプレ大会も検討中です)

発表申し込みの手続き方法など詳細は、決まり次第、メールニュースや HP でご案内いたします。

(発表申込スケジュール：予定)

アブストラクト提出：

7 月 1 日(日)～7 月 15 日(日) 正午必着

講演論文集用原稿提出：

7 月 1 日(日)～8 月 31 日(金)

■ 学術研究発表大会における託児室開設について 《予定》

標題の研究発表大会では、託児室の開設を検討しています。

大会の開催期間中、発表会場から徒歩数分程度のキャンパス内に、小さいお子様(3 ヶ月～小学校低学年位まで)を預けることができるスペースを用意し、依頼したベビーシッター(実績のある会社から派遣)にお世話をしてもらおうというものです。

※託児料やオムツ等消耗品の費用については、利用者の実費負担

内容の詳細や正式の申し込みについては、6 月頃からのメールニュースや次号ニューズレターでお知らせする予定です。

まずは、おおよそのご利用人数を把握させて頂きたいと思

います。
ご利用を希望または検討される方のご質問等は、4 月 27 日(金)までに事務局へメールでご連絡ください。

■ 日本地球惑星科学連合 2018 年大会

会期： 2018 年 5 月 20 日(日)～24 日(木)

会場： 幕張メッセ及び東京ベイ幕張

事前参加登録： 5 月 8 日(火)23:59 まで

詳しくは…

http://www.jpogu.org/meeting_2018/

なお、当学会関連セッションは以下のとおりです。

● 5 月 24 日(木) 午前：

H-TT17 「地理情報システムと地図・空間表現」

● 5 月 24 日(木) 午後

H-TT15 「Geographic Information Systems and Cartography」

■ 2018 年 IAG' i シンポジウム

会期： 2018 年 7 月 1 日（日）～3 日（火）
会場： 台湾（新竹市）
詳しくは…
<http://2018.iceo-si.org.tw/program/agenda>

■ 2018 年度初等中等教育における GIS を活用した授業に係る優良事例表彰について

2018 年度も表記の表彰事業を予定しております。募集要項および過去の授賞については、以下の URL でご確認ください。2017 年度から、受賞者の許可を得られたものについては、資料を公開しております。

詳しくは…
<http://www.gisa-japan.org/awards/post-1.html>

応募期間は 2018 年 7 月 1 日（日）～8 月 31 日（金）17:00 必着です。

【支部報告】

■ 東北支部 [井上 亮]

<東北支部研究交流会 開催報告>

2018 年 1 月 16 日（火）に東北大学・青葉山キャンパスにて、東北支部研究交流会を開催した。今回は、研究者や実務経験者、学生から、計 6 件の話題提供が行われた。パラメータを用いた広範囲の放射線量モニタリング、水害発生が不動産価格に与えた影響の解析、不動産賃料形成要因の地域的差異の分析、時系列解析手法を利用した道路交通の短期的な予測、歩行者経路探索を目指したネットワークモデルの提案、電子海図の国際基準に関する動向について紹介があり、地理空間情報に関する多岐にわたるテーマについて、活発な議論が行われた。

【委員会報告】

■ GIS 資格認定協会 [大伴真吾]

これまで使用してきた GIS 上級技術者の新規・更新マニュアル及び申請書の一部を近日中に改訂・公開することになりました。例えば、申請時に地理情報システム学会個人会員の方であれば、会員番号を明記するだけで、会員であることの証明書の添付が不要となります。詳しくは、GIS 資格認定協会のホームページでご案内させていただきます。

なお、申請いただく際には、審査を円滑に進めるためにも、最新のマニュアルと様式をホームページからダウンロード、ご利用の上、提出をお願いいたします。

3 月 1 日時点の認定数は以下の通りです。

GIS 名誉上級技術者数	23 名
GIS 上級技術者数	266 名
教育認定プログラム数	24 件

【第 26 回研究発表大会セッション報告(追加)】

■ 企画セッション (A-5) 「GIS と AR を組み合わせた地理教育」 オーガナイザ：伊藤 悟・山本佳世子

高等学校で 2022 年度以降、必修科目として開設される「地理総合」では、GIS の活用がより重要になるといわれています。しかし、GIS が実際に活用できるかについて、学校現場の教員に不安がないわけではありません。そこで、容易に GIS を利用し、かつ効果的な授業が展開できる方法の 1 つとして、GIS と AR（拡張現実）技術の組み合わせ利用に関心を寄せ、その授業実践の試みやシステム開発について、意見・情報交換を行うことを本セッションの目的としました。

6 件の報告があり、第 1 報告では、位置情報型 AR について、今日どのように活用されているかが Android 系アプリに焦点をあてて整理された後、地理教育、特に「地理総合」における有用性が検討されました。第 2～4 報告では、既存の AR システムを用いた授業実践が紹介されました。高校における授業実践では、GIS に AR を組み合わせた活用が生徒の興味関心を拡大するだけでなく、地域を認識する手助けになるとの指摘を得ました。第 5～6 報告は、教育用の AR システムの開発が紹介されました。既存の AR システムなかには、サービスが安定的に提供されないものもあり、教育現場において使いやすいシステムの開発は重要な課題でしょう。

上記のような授業実践の蓄積や教育用システムの提供など、「地理総合」のスタートに向けた取り組みが、今後もますます拡大することを期待したいと思います。「地理総合」を学んだ生徒が GIS に興味を向け、いつかはそれが GIS のさらなる発展につながるなど、私たちは夢を膨らませたいものです。

【分科会報告】

■ セキュリティ分科会 [内布 茂充]

<セキュリティ分科会開催報告>

近年、国、地方自治体・企業のそれぞれの立場においてオープンデータに関する取り組みが行われており、GIS の活用にかかるオープンデータの二次利用と著作権に関する課題認識を深める目的で、“オープンデータの二次利用に係る意見交換会”と題して、2018 年 2 月 23 日に自治体、企業、学識者など参加者 27 名により大阪市立総合生涯学習センターにて開催した。

第 1 部は、行政の取り組みとして、大阪市 ICT 戦略室の西川肇氏より“大阪市におけるオープンデータに関する取り組みについて”、第 2 部は、企業の取り組みとして国際航業株式会社の坂路和也氏より“オープンデータを活用した民間企業の取り組み事例について”紹介を受けた。第 3 部は、あおき GIS・オープンデータ研究所・立命館大学の青木和人氏のコーディネートのもと“オープンデータの二次利用について”と題して参加者と意見交換を行った。

第 1 部では、“オープンデータの取り組みに関する指針”を策定、オープンデータの二次利用について配慮した提供条件として原則「CC-BY」とする、マップナビおおさかの地図情

報やイベント情報を API 機能により提供しているなど積極的な大阪市の取り組みが紹介された。

第 2 部では、オープンデータの統計情報、土地情報などを活用してコンテンツを生成し、不動産関連、物流関連などの分野に API で配信サービスとしている。また、活断層、液状化などの情報を防災情報提供サービスとして提供していると事例を紹介された。課題として、全国の情報共有の展開としては、“全国的にフォーマットの統一化” “データの所在検索” “未公開によるデータ不足” があるほか、データの鮮度を担保するためのデータ更新などが挙げられた。

第 3 部の意見交換会では、“オープンデータの情報セキュリティ” “容易に活用できるデータ形式でデータ提供できない理由” “著作物となり得るデータ” “GIS の機能を利用して様々なデータの重ね合わせにより生成されるプライバシー情報” などについて意見交換を行った。

まとめとしては、“オープンデータの二次利用の社会的責任は、その利用者が負うと考えるべきである” “オープンデータを利用して GIS の機能により生成される描画やテキストは、著作物になる可能性があり、著作物としての取り扱いに留意する必要がある” “プライバシー情報のデータ生成については、オープンデータへのアクセス権の付与、作成者への法的な対応などに留意する必要がある。” など意識を共有することができた。

今後も、オープンデータなどを活用し GIS の機能により生成されるデータの社会的な課題について、知見を深めていきたい。



セキュリティ分科会開催の様子

学会後援行事等のお知らせ

- 第 14 回 GIS コミュニティフォーラム
主催： ESRI ジャパンユーザ会
会期： 2018 年 5 月 24 日（木）～25 日（金）
会場： 東京ミッドタウン
詳しくは…
<https://www.esrij.com/events/gcf/gcf2018/>

- IEEE SMC 2018（協賛）
会期： 2018 年 10 月 7 日（日）～10 日（水）
会場： シーガイア国際会議場（宮崎県）
詳しくは…
<http://www.smc2018.org/>

【事務局からのお知らせ】

■ 2018 年度年会費納入のお願い

今号は、年会費納入方法が郵便振込の会員の方々に、2018

年度分（2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日）年会費の郵便振込専用用紙を同封しております。**納入期限は 5 月 1 日（火）**です。お早めにお手続きください。

年会費は、正会員 10,000 円、学生会員 5,000 円です。

期限に遅れますと、6 月発行のニューズレター106 号および『GIS-理論と応用 Vol. 26-No. 1』の送付が停止されるほか、ホームページの会員専用コンテンツの閲覧が出来なくなります。

なお、新年度から年会費の**口座振替をご希望の方は、4 月 20 日（金）までに、事務局に申込用紙をご請求ください。**

■ 学生会員さんへ 学生証のコピー提出のお願い

4 月以降も学生の方は、**新年度に入ってから学生証のコピー**を事務局までご提出ください。**5 月 1 日（火）必着です。**FAX またはメール添付（jpg か pdf または写真）でお願いします。学生会員の方には、別途、詳細を連絡済みですので、必ずご確認ください。

※ コピーは、「氏名」「発行者」「有効期限」が分かるように取ってください。

※ コピーの余白に「学部生」「修士課程」「博士課程」の別を明記してください。

※ 2017 年度に提出された方も、再度ご提出ください。事務局で確認後、以前のものは既にシュレッダー裁断しています。

※ 学生証が 4 月中に発行されない場合は、その旨、事務局までご連絡ください。

■ 年会費口座振替ご利用の方へのお願い

2018 年度分（2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日）年会費の**口座引き落とし日は 6 月 27 日（水）**です。口座残高のご確認をお願いいたします。

年会費は正会員 9,000 円、学生会員 4,000 円です。

■ 会員登録変更・退会等について（既報）

現在の会員登録の状況は、学会ホームページの会員専用ページから、ご自分で確認・変更することが出来ます。

<https://www.gisa-japan.org/member/login.php>

なお、学会 web 等で既にご案内のとおり、退会を希望される場合は確認事項がありますので、まずは事務局までご連絡ください。年度は毎年、4 月 1 日から翌年 3 月末日までです。2017 年度一杯で退会希望の方は、2017 年 3 月末日までに手続き完了が必要です。（2018 年 4 月 1 日から、新年度の学会費が発生します）

■ 会議の場所をご提供します

分科会（SIG）、委員会、支部など、学会活動に関することで会議をしたいが場所が無い…という方は、事務局までお申し出ください。事務局が入居している学会センタービルの地下に、貸会議室があります。予約制ですので、お早目にお問い合わせください。

料金：無料

時間：月曜日から金曜日の 10：00～17：00

注意：インターネットのご利用は出来ません

2018 年 2 月末現在の個人会員 1161 名、 賛助会員 57 社		
賛助会員 アクリーグ㈱,朝日航洋㈱,アジア航測㈱,アドソル日進㈱,いであ㈱,㈱インフォマティクス, ESRI ジャパン㈱, NIT タウンページ㈱,㈱NIT データ数理システム, 愛媛県土地家屋調査士会, 応用技術㈱, 大阪土地家屋調査士会, ㈱オオバ, ㈱かんこう, 関東甲信越東海GIS 技術研究会, ㈱岐阜県建設研究センター, 九州GIS 技術研究会, 近畿北陸G 空間情報技術研究会, ㈱こうそく, 国際航業㈱, 国土情報開発㈱, ㈱古今書院, GIS 総合研究所いばらき, ジェイアール西日本コンサルタンツ㈱, ㈱ジオテクノ関西, ㈱ジオプラン, ㈱昭文社, ㈱ジンテック, ㈱ゼンリン, ㈱ゼンリンジオインテリジェンス, ㈱谷澤総合鑑定所, 玉野総合コンサルタント㈱, 中四国GIS 技術研究会, デジタル北海道研究会, 東北GIS 技術研究会, ㈱ドーン, 長野県GIS 協会, にいがたGIS 協議会, 日本情報経済社会推進協会, 日本スーパーマップ㈱, ㈱日本測量調査技術協会, 日本土地家屋調査士会連合会, ㈱日本地図センター, パシフィックコンサルタンツ㈱, ㈱パスコ, 阪神高速技研株式会社, 東日本総合計画㈱, 北海道GIS 技術研究会, ㈱マップクエスト, ㈱松本コンサルタント, 三菱電機㈱, 三菱UFJ リサーチ& コンサルティング㈱, ㈱リモート・センシング技術センター 自治体会員：経済産業省特許庁, 総務省統計局統計研修所, 長野県環境保全研究所, 福岡県直方市		
学会分科会連絡先一覧		
●自治体：浅野和仁（大阪府富田林市） 事務局：青木和人（あおきgis研究所 Tel 050-5850-3290） E-mail：kazu013057@gmail.com ●ビジネス：高阪宏行（日本大学 Tel 03-3304-2051） E-mail：kohsaka@chs.nihon-u.ac.jp ●防災GIS：畑山満則（京都大学防災研究所 Tel 0774-38-4333） E-mail：hatayama@imdr.dpri.kyoto-u.ac.jp ●土地利用・地価GIS：碓井照子（奈良大学） 事務局：西端憲治（㈱セイコム Tel 0721-25-2728） E-mail：totiriyo-sig@seicom.jp ●時空間GIS：吉川耕司（大阪産業大学 Tel 072-875-3001） E-mail：yoshikaw@due.osaka-sandai.ac.jp	●地図・空間表現：若林芳樹（首都大学東京 Tel 042-677-2601） E-mail：wakaba@tmu.ac.jp ●セキュリティSIG：内布茂充（行政書士内布事務所 Tel 090-2284-4125） E-mail：spcn87q9@royal.ocn.ne.jp ●FOSS4G：Venkatesh Raghavan（大阪市立大学） 連絡先：嘉山陽一（朝日航洋㈱ TEL049-244-4032） E-mail：youichi-kayama@aeroasahi.co.jp ●若手分科会：相尚寿（東京大学 Tel 04-7136-4302） E-mail：hisaai@csis.u-tokyo.ac.jp ●IoTとGIS：巖網林（慶應義塾大学 Tel 0466-49-3453） E-mail：yan@sfc.keio.ac.jp	
地方支部の連絡先一覧		
<北海道支部> 支部長：小樽商科大学 深田秀実 Tel：0134-27-5399, E-mail：fukada@res.otaru-uc.ac.jp <東北支部> 支部長：東北大学 井上亮 Tel：022-795-7478, E-mail：rinoue@plan.civil.tohoku.ac.jp <北陸支部> 支部長：新潟大学 牧野秀夫 Tel：025-262-6749, E-mail：makino@ie.niigata-u.ac.jp <中部支部> 支部長：中部大学 福井弘道 連絡先：杉田暁（中部大学） Tel：0568-51-9894（内線 5714）, E-mail：satoru@isc.chubu.ac.jp <関西支部> 支部長：大阪工業大学 吉川眞 連絡先：田中一成（大阪工業大学） Tel：06-6954-4293, E-mail：gisa@civil.oit.ac.jp	<中国支部> 支部長：広島修道大学 川瀬正樹 Tel：082-830-1210, E-mail：kawase@shudo-u.ac.jp <四国支部> 支部長：高知大学 松岡真如 Tel：088-864-5166, E-mail：msykmto@kochi-u.ac.jp <九州支部> 支部長：九州大学 三谷泰浩 Tel：092-802-3399, E-mail：gisaku@doc.kyushu-u.ac.jp <沖縄支部> 支部長：琉球大学 町田宗博 E-mail：machida@ll.u-ryukyu.ac.jp 連絡先：澤岨 直彦（特定非営利活動法人沖縄地理情報システム協議会） Tel：098-863-7528, E-mail：takushi@okicom.co.jp	
■ 編集後記 ■ 昨今の大雪や春の嵐により、各地で甚大な被害が発生した。このような予測を超える被害をもたらす異常気象は、季節に関係なく、様態を変えて日本社会に襲いかかってくる。地球温暖化の影響とも考えられる異常気象は、高度経済成長がもたらした負の遺産なのか。もし、地球気象や環境の営みのバランスが崩れたのであれば、その事象への対応策を取っていくしかない。 そのような意味から、地球環境のデータ収集、分析、予測といった分野の技術発展により、その予測に対応した生活が余儀なくされてくる。 また、その対応には、社会通念として生活上の様々な仕様のレベルアップを求めていく必要があると考ええる。 <div>内布 茂充</div>	地理情報システム学会ニューズレター 第 105 号 ●発行日 2018 年 3 月 23 日 ■発行 一般社団法人 地理情報システム学会 〒113-0032 東京都文京区弥生 2-4-16 学会センタービル 4 階 TEL/FAX: 03-5689-7955 E-mail: office@gisa-japan.org URL: http://www.gisa-japan.org/	
	■ 弥生雑記 ■ 名前は分からない。当時の映像を見せられても、その少年だとは気づかないだろう。あの震災の直後、両親とも津波に奪われた少年は、ひとり気丈に報道陣の問いに答えていた。その健気さが見ていて辛く、マイクを突き出すアナウンサーに嫌悪感すら抱いたことを覚えている。 だが、それが契機となった。家人の奨学金返済が完了してからこの方、時折、検討してはいたのだ。教育のために寄付をしたいと思ってはいたのだが、いざとなると様々な機関があり、どうしたものかと思いあぐねてしまっていた。でも、遺児を支援する団体を応援することに決めた。 少年の瞳は澄んでいた。この先どんな困難が待っていようと、その瞳を曇らせたくないと思った。子供の未来を信じたかった。寄付の振込用紙は毎年 3 月に届く。用紙に金額を記入しながら、必ずあの少年を思い出す。どうしていることだろう。進学したのだろうか、就業しているのだろうか。どこの誰とも知れない人が、君を遠くから応援しているからね。君はそれを知ることはないだろうけれど、それで良いと思うよ。ひとりではないからね。がんばれ。 今年も、3 月がやってきた。未来ある全ての人に、幸あれかし。 (学会事務局)	